

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
• 学部	理工学研究科		
• 学科(コース等)	電気電子情報工学専攻		
• 学年(渡航開始時)	修士1		
• ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい	☒ 学部・学科まで掲載してよい	☐ 完全匿名での掲載を希望
留学先情報			
• 渡航型/オンライン型	☒ 渡航型	☐ オンライン型	
• プログラムタイプ	☐ 授業履修型	☒ 研究室配属型	
• 国・地域名	スイス・ヌーシャテル		
• 都市名	ヌーシャテル		
• 留学先大学名	スイス連邦工科大学ローザンヌ校（EPFL）		
• 留学期間	☐ 3ヶ月未満	☐ 3ヶ月～半年（1セメスター程度）	☒ 半年～1年（2セメスター程度）
• プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2023年8月初旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
• 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	☐ 1年前期		
• 上記協定校を志願した理由を教えてください。	EPFLはコンピュータサイエンスやバイオテクノロジーに関して世界のトップ大学の中でも高い評価と研究力を有しており、自分が芝浦工業大学の研究室で行っている内容がAIや画像処理を使用したデータの分析ということもあり、よりレベルの高い教育及び研究を行いたいと考えました。また、バイオの分野はデジタル化が遅れている分野の一つであり、需要は右肩上がりであるという観点から、AIやシステム開発などを通して研究を行い、英語によるコミュニケーションだけでなく、より専門性を深められるという理由から志望しました。		
• (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	SIT指導教員の紹介		

留学中の学籍について	
• 休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
• 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得しており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	渡航前に必須科目の単位を全て取り終えており、指導教員より許可を得られたため。

留学先での学習・研究状況		
・ 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。	主に機械学習や統計手法を用いたデータの解析及び分類回帰モデルの作成に従事していた。そのため、学習は論文を読んで情報を収集したり、英文資料の作成や英論の執筆等を行っていた。研究状況としては、学会発表を一度実施し終え、学術雑誌に一本掲載しようと修正論文を大方書き終えた状況で、最後の仕事を日本で終えるつもりである。	
・ 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。 (たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)	科目名①	単位数 (現地単位数)
	科目概要	
	科目名②	単位数 (現地単位数)
	科目概要	
	科目名③	単位数 (現地単位数)
	科目概要	
	科目名④	単位数 (現地単位数)
	科目概要	
	科目名⑤	単位数 (現地単位数)
	科目概要	
	科目名⑥	単位数 (現地単位数)
	科目概要	

留学先での学習・研究以外の交流活動	
交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	自分の留学していたEPFLのmicrocityキャンパスは近くの大学であるUNINEと提携して、講義を自由に受けたり、スポーツも分野によっては無料で参加できたりするので、そういった機会を自ら作り、研究室以外のコミュニティを作って、友人を作ったりすると非常に良い留学生活になると思います。

自由記述欄	
留学で感じたこと等、自由に記載してください。 (当初の留学計画を達成でいたか、新たな発見はあったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)	留学で感じることは仕事とプライベートはきっちり分けている点です。平日は5時まで研究を行い、それ以降は人によってはバーに行ったり、遊びに行ったり、様々です。そして、土日は登山やスポーツなどに時間当てている人が圧倒的に多いです。研究に関しても、最初に目標設定を留学先の教授と話し合い、それに向けて次の研究進捗会までに終わらせていれば、問題ないでの、研究室での過ごし方は基本的に自由であり、家で仕事をしても問題ないです。逆に、研究室に夜遅くまで滞在することも可能であり、締め切り間近では真夜中まで働くこともしばしばあります。そして、大学側では教員と学生間の関係を監視する第三機関が存在し、自分が一度数日徹夜で働いていた日がありましたが、それについて自分の教授に「過剰なタスクを与えているか」についてのメールが送られていたことにびっくりしました。 留学計画についてですが、基本的に自分が目標としていた内容は一通りクリアしたかなと感じています。留学までに準備することと言えば、研究室配属であれば、とにかく留学先の研究内容を熟知するために、多くの関連論文を読んだり、留学先のPhDと意見交換したり、頑張って渡航前にオンラインで英語で話してみると、現地についてから緊張することは減ると思います。 自分は、この留学を通して学んだこととしては、英語を学んだことや研究能力を上げたこと以上に、ヨーロッパの文化や価値観について触れたことです。スイスにはフランスやイタリア、ドイツといった国のほかに中東からも多くの留学生が来ることから、彼らと彼らの国の歴史や経済、文化について話す機会がたくさんあります。その中で日本とどのように違うのか、彼らが持つアイデンティティは何なのかを嫌でも感じるがたくさんあります。そして、逆に日本という国はどういう国なのかについて考え、如何に日本について自分が無知だったのかにもについても感じるようになります。これが留学する最大の意味ではないかと考えています。 ぜひ後輩たちにはそれを体験してみてほしいです。

留学手続き時に苦労した点	
協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）	手続き時に苦労するしたことは特になし。ただし、奨学金関連の書類作成は時間がかかるのと倍率も高かったりするので、TOEICやTOEFLなど早めに受験し、よりよいスコアを取得しておく、お金関連で心配することは減ると思う。
ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など） （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	自分はスイスだったので、ビザ申請は特に必要はなかった。日本人の場合、協定で3か月以内なら滞在可能です。また、それ以上滞在したい場合は、滞在許可証を「発行してもらわないといけません」が、これにはパスポートと協定校受入証明書、出生証明書及び居住証明書を提出する必要がある。特に出生証明書はフランス語記載のものを準備する必要があるが、日本では発行してもらえる場所がないため、現地の日本大使館で発行してもらわないといけません。また、発行するために日本語の出生証明書のコピーではなく、元本でないといけないため、かなり面倒くさかった記憶があります。また、出生証明書は州によって必要が必要かどうか変わるので、渡航前に事前に調べた方がいいです。
その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。	

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	
宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）	1年間の滞在中で、最初の6ヶ月は一般のアパートで、後半の6ヶ月は学生寮にしました。
上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）	最初のアパートは比較的ネット上でも探しやすいものもあるが、自分は渡航先の研究室の秘書さんをお願いをして、いくつかの宿泊探しサイトを教えてもらった。自分で探さないといけないのと、渡航三か月前までに見つけておくの良い。特に、渡航先の住居が見つからずに、留学を断念せざるを得ない場合もよく耳にするので、渡航が決まったのならば、最初にすることは宿泊探しだと思います。また、後半の学生寮は現地で仲良くなった学生にいろいろと教えてもらいました。アパートは高かったりするので、学生寮に引っ越せるのならばそれが一番いいと思います。もし、研究室配属ならば、その研究室の学生に色々聞いて宿泊地を紹介してもらうことも可能だと思います。
現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ 交通手段や所要時間を教えてください。	ジュネーブ空港駅からヌーシャテル駅まで一本で約1時間半で宿泊地に到着した。
上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。	前半は徒歩20分で通学し、後半は徒歩5分で通学していた。
上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。	学生寮で、1フロア8人ほどがそれぞれの部屋の中で生活する形である。部屋それぞれにシャワーとトイレが備え付けられており、生活する上で困ることはない。キッチンと洗濯機は共同である。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥8,500	カード申請
往復航空券代(往復)	¥314,380	167860円が出国で、146520円が帰国時の料金
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥290,000	1年分
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥38,100	0円→パスポート申請(10年)、22100円→(Permission VISA B
計	¥650,980	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥84,000	最初の6ヶ月は約95000円で、後半6ヶ月は約73000円
食費/月	¥30,000	
その他/月	¥10,000	
計	¥124,000	

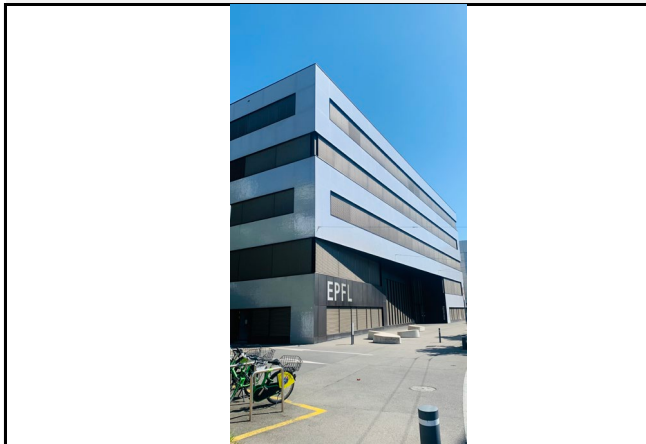
奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	23年度までは8万、24年度より12万に変更
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

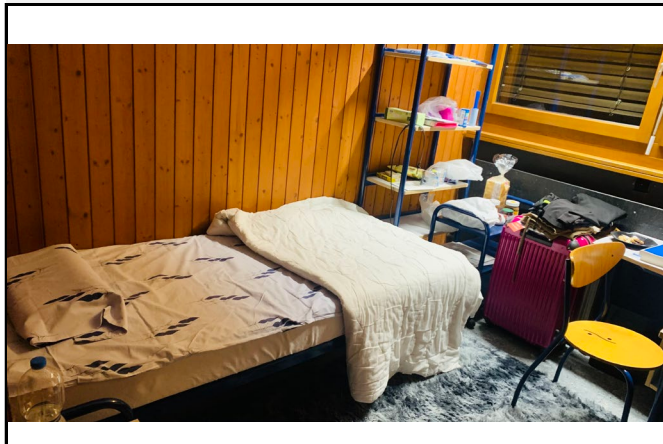
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

ヌーシャテルにある別のキャンパス(研究所)で、主にPhDもしくはプロジェクトに参加したマスターの学生が研究する場所。メインキャンパスはローザンヌにあります。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

学生寮の一室で、ベッドや机、トイレやシャワー室も完備されている。キッチンフロアに設置されており、他の学生と共用である。

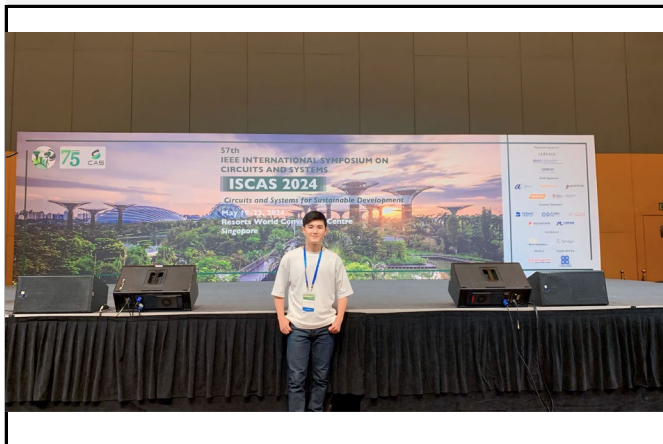
その他、任意の写真



説明文

研究進捗発表会を終えて、みんなが集合して撮った写真

その他、任意の写真



説明文

シンガポールの国際学会に参加した際の写真

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。